

戦後の30年

終戦のとき私は東京にいた。窓もない通勤電車の中で、毎日汗びっしょりでもまれながら、しみじみ温泉にひたりたかった。サービスのいい温泉宿で、昔のようにふんだんに馳走が喰えたらなあと思っていた。しかしそんな夢は、私の生きているうちには到底実現することはあるまいと観念もしていた。

ところがそれから20年もたたない間に、当時は考えもしなかったレジャー時代がきて、戦前にもまして設備のよいホテルができ、昔よりももっとうまい馳走が喰えるようになった。復興の早さに驚くばかりである。

昭和20年代の末に、はじめてアメリカに行ったとき、市民生活の程度の高いのに驚いた。日本では食糧も不足だというのに、「使いすて時代」だという。家は全館冷暖房で、1軒で車を2台ももっている。つくづくうらやましいと嘆息したものだ。

ところが今日の日本は、すでにその頃のアメリカの所得水準を越えてしまった。生活程度は終戦の頃に較べれば無論、戦前と較べても遙にようになったが、欲望には限りがない。不平不満は、却って大きくなったのではないか。

中国の国民1人当りの所得は日本よりも、ずっと低い。消費物資も豊ではない。日本はマイカー時代だが、中国はまだ自転車時代だ。衣服も日本よりずっと粗末だ。しかし、中国人の誰に聞いても判で押したように答える。「今日の生活に満足している。解放前に較べれば、ずっと、よかったから。」と。

全く物は考えようである。

(立川宗保)

目次 (第9巻第6号)

ブラジルの旅……………	2
＜農事試験場畑作部 中山兼徳＞	
1. 人間について……………	2
2. 都市と農村……………	3
3. 地主と農業労働者……………	4
4. 自然条件について……………	6
5. 作物について……………	7
6. 料理……………	8
7. 開発と今後の方向……………	8
ワルナスビの生態と防除……………	10
一牧草地を中心として一	
＜静岡県農業試験場栽培部 鈴木金苗＞	
1. はじめに……………	10
2. ワルナスビの形態……………	11
3. ワルナスビの繁殖形態……………	11
4. ワルナスビに対する除草剤試験……………	13
5. ワルナスビ防除上での今後に残された問題……………	16
沖縄地域における	
ムラサキカタバミの生態と防除法……………	17
＜沖縄県農業試験場 仲宗根盛雄＞	
1. まえがき……………	17
2. 発生および防除の概況……………	17
3. あとがき……………	22
昭和49年度冬作(麦・いぐさ・水稻刈跡)関係除草剤試験成績概要……………	22
第1表 昭和49年度冬作関係委託除草剤成分および判定結果一覧……………	23
第2表 昭和49年度冬作関係実用化除草剤使用基準一覧……………	24
＜財団法人 日本植物調節剤研究協会＞	